

要 請 文

私たち川崎市民にとって、かけがえのない貴重で広大な生田緑地の荒廃・荒涼・不潔の実態は正に耐えがたく、市民として、納税者として、利用者として、また都市アナリストとして、まことに悲しくも恥しい限りで、怒りさえ抑えられないほどの惨状でございます。

どうぞ、川崎市、川崎市議会、並びに各党会派、川崎市監査委員会、それに報道各社に於かれましては、早急に対応策を講じていただきますよう、ここにその恐るべき実態の情報をご提供申し上げます。

- 1、先ず、生田緑地のこの荒廃の現状を保存し、状況証拠として、当分の間、ホームページやメディアを通じて情報を公開して、各方面の関心を高めて、現場確認をしてほしいものをご要請申し上げます。
- 2、次に、この惨状を招いた原因と経過をできる限り、正確に市民に説明いただきたいと存じます。同時に、責任の所在を明らかにしていただきたいと存じます。
- 3、川崎市は昭和47年4月1日に政令指定都市に移行しました。それ以降の川崎市政と体質について分析・検証をお願いします。
- 4、私はかつてより、政令指定都市制度に大きな疑問を抱いてきましたが、半世紀に及ぶその政令指定都市制度の検証をそれぞれのお立場で実施していただきたくご要望申し上げます。

平成18年1月16日

永 井 英 慈
(都市アナリスト)
川崎市多摩区在住

殿